

様式 2

附属機関等の名称 会議概要

1	審議会名	令和元年度第2回安曇野市介護保険等運営協議会
2	日	時 令和元年10月7日(月) 午後1時から午後2時45分まで
3	会	場 本庁舎3階 全員協議会室
4	出席者	小林茂幸委員、丸山恵理子委員、丸山美榮委員、藤岡嘉委員、山田守二委員、中島美智子委員、飯島康博委員、黒木昌一委員、平林千代委員、宮沢暁子委員、中村美幸委員、関了委員 (欠席委員：三澤早苗委員、杉本美代子委員)
5	市側出席者	高橋保健医療部長、藤原介護保険課長、鳥羽長寿社会課長、丸山介護保険課長補佐、奈良澤介護保険担当係長、瀧介護予防担当係長、中澤介護予防担当係長、内山認定調査係長、新保長寿福祉係長、岩原主査(事務局担当者)
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	令和元年10月7日

協 議 事 項 等	
会議の概要	
1	開会(藤原課長)
2	あいさつ(高橋部長、中島会長)
3	会議事項
	(1)老人福祉計画の実施状況について
	(2)介護保険事業計画の実施状況について
	(3)介護相談員派遣事業について
	(4)第7期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備の進捗状況
	(5)生活支援体制整備事業の実施状況 (第2回安曇野市生活支援体制整備事業第1層協議体)
	(6)安曇野市老人福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
	(7)その他
6	閉会(山田副会長)
審議概要	
(1)事務局より説明	
質 疑	
委 員	：計画に対して、実績の増減がある。実績0のものもあるが、たまたま実績がなかったとも考えられる。安曇野市で安全に暮らしていくためにも、必要な事業、受け皿は、慎重に検討して行ってほしい。
委 員	：生きがいづくりと社会参加支援の4.高齢者の生きがいと健康づくり事業と5.アクティブシニアがんばろう事業の補助内容は重なっている部分もあるのではないかと思うが、分け方はどのようになっているか。
事務局	：一つとしては、4.高齢者の生きがいと健康づくり事業は、公民館単位の活動となる。5.アクティブシニアがんばろう事業については、関心のある趣味や生きがい活動から、地区を超えた市全体での活動になる。
(2)事務局より説明	
質 疑	
委 員	：要支援者が増加しているが、制度改正の影響か。要介護者より要支援者が多く感じる。
事務局	：要介護認定者の重度化が防いでいる面がある。介護度の重い方の人数は横ばいの状況となっている。また介護予防・日常生活支援総合事業の開始により、予防の面から要支援者の方が増えている。

委員：要介護認定者が減っていることは、健康な方が増えていると理解してよいと思う。懸念することは、施設ではなく、なるべく在宅で介護へとの方向を感じる。家族の中には、いつまで在宅で介護ができるのかと不安はある。そのあたりは、十分に考慮して行ってほしい。

会長：すべてにおいて、在宅で介護をするということにはならないので、いろんな場で相談をしてほしい。

(3) 事務局より説明

質疑

委員：介護相談員が施設に訪問しているが、改善の指摘があれば知りたい。

事務局：現在のところ、各相談員は1施設のみ訪問している。環境面などで気づいたことは、その場で施設に伝えてきたことはある。相談員との連絡会議の中では、大きな問題はあがってきていない。今後も、回数を重ねる中で施設との関係性をつくりながら対応していきたい。

委員：訪問した施設での相談内容の概要について、資料として提供してほしい。

事務局：利用者の方と話をする中で、不満や要望があればまとめていくことになる。今後、報告できるものがあればしていきたい。

(4) 事務局より説明

質疑なし

(5) 事務局より説明

質疑なし

(6) 事務局より説明

質疑

委員：成年後見制度利用促進基本計画の位置づけ、意図は何か。

事務局：成年後見制度利用促進のため、法律が整備され、市町村では計画策定が努力義務となった。令和3年度までの策定が義務づけられているため、単独で策定する市町村もあるが、安曇野市においては、検討期間から介護保険事業計画の中で位置づけて策定することがよいのではないかと考えている。

委員：成年後見人制度は現在、弁護士、司法書士、家族などが担っているが、計画により、受け皿が拡大される可能性は。また、認知症がある方など対象者にとっては、成年後見制度は、必ず利用しないといけなくなるのか。

事務局：計画では、市民後見人の育成について盛り込んでいくことになると思う。成年後見制度は必ず利用しないといけないものではないが、まだまだ制度の周知がされていないことはある。計画を策定することで、普及啓発をすすめていきたい。

(7) その他事務局より

次回の会議については、今年度中は、介護保険事業計画策定の検討事項が出た場合、必要に応じて開催予定。年度末に委員の改選が予定されている。